# 加古川（かこがわ）

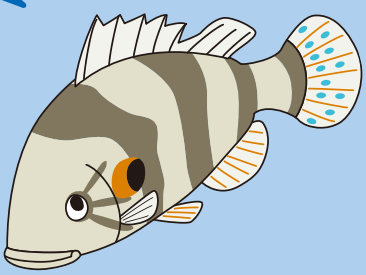
加古川は、丹波山地から瀬戸内海の播磨灘に流れる兵庫県でいちばん大きな川です。
河口には、エドハゼ、ハクセンシオマネキなどの生き物の大切なすみかとなっている干潟（潮が引いたときの河口の浅瀬）やヨシ原が見られます。

? どんな生き物がいたかな？ なんて名前かな？ 13ページの表で、しらべてみよう。

ぼくオヤニラミ。水がきれいな川でしか生きられないから、今ではすっかり珍しい魚になっちゃったよ。
子育ての時には、オスのぼくが卵や稚魚を敵から守っていて、
その『親がにらみをきかせている』様子が、名前の由来になったみたい。
その他にも、縄張りをあらわす相手は『親でもにらむから』とか、色々な説があるよ。

**加古川の“水のきれいさ”の移り変わり**

板波橋は今年「きれいな水」になったね。



オヤニラミ